

クラス番号	703	担当教員名	田中 千枝子
テーマ	実践事例から、保健医療におけるソーシャルワークを考える		
著書・論文	『保健医療サービス』中央法規 編著 2009 『よくわかる医療福祉』ミネルヴァ 編著 2010 『保健医療ソーシャルワーク論』勁草書房 著 2009 『医療福祉実習』川島書店 編著 2008		
研究課題等	① MSWの養成教育・生涯教育 ② 退院支援と地域連携 ③ エンパワメント視点		
ゼミナール概要			
キーワード：保健医療領域のソーシャルワーク MSW養成教育 スーパービジョン 退院支援と地域連携			
目的、内容、方法等：			
《目的》保健医療領域を中心としたソーシャルワーカー（MSW・PSW・老人保健施設・障害者施設（とくに就労支援）・専門職公務員等）になることを希望している学生が、自発的なゼミ活動を起点に今後の授業・演習・実習・見学・専門実習・ゲストスピーカーの話等を経て、自分の生活/人生の目標を、専門職に見出していくことを支援する。			
《内容》事例を中心に制度や医学知識等の周辺知識の枠組みを学び確認し、さらにソーシャルワークの価値にもとづく支援の姿勢を確認するとともに、ソーシャルワークの知識と技術をプロセスに沿って身につけていく。また事例から派生した興味に基づいて、さらなる学習課題を設定し、卒論や専門実習等に繋いでいく。実習に必要な医療知識について事典の作成を企画実施、先輩の内容を引き継ぎつつ行う。			
《方法》保健医療領域に関係する事例を、ロールプレイを使って学生とともに作成し、その事例の問題理解や解決に必要な知識技術を学習していく。またその事例に沿った病院や施設を見学し、当事者やSWをゲストスピーカーに呼ぶなどして、事例からその理解を広げていく。どのような事例にするのかは、ゼミの中で選択検討していく。			
《備考》ゼミ合宿や交流会などは極力全員参加して、先輩を含めた仲間と仲良くなりたいです。少しでもグループに積極的に参加する手間と勇気を持ってほしいです。そこからいろいろなものが生まれてくるでしょう。同じSWを目指す仲間として、お互いを高めあいたいものです。			
授業計画：			
《ゼミ開始前》現3年生との交流会とゼミ方針説明会の開催			
《ゼミ前期》 事例の作成 分担確認 グループのレポート形式で発表 見学やゲストスピーカーの検討・実施 基本文献の読み込み発表 制度や医学知識のレポート 事例に適用した場合の問題点の整理と介入 事例の振り返りレポート			
《夏季学習の課題設定》レポート提示 実習との兼ね合いで設定 事例の分析			
《ゼミ後期》面接技術の学習 ロールプレイ 事例のスーパービジョン 医療制度や医学用語、地域の保健医療福祉サービスの情報収集とまとめ 卒論および4年生の学習計画を作成 実習のための医学知識事典のグループ作成			
担当教員からのメッセージ			
5年ぶりに3年生と4年生の両方を一緒にもつことになりました。卒業生を含めた先輩グループと一緒に学生のみなさんの実態やニーズを踏まえながらも、その「+α」に目標を設定して、ゼミを進めたいと思います。皆さんと一緒に建設的かつ刺激的なゼミ運営を考えていきたいと思います。自主的に学び、学習意欲の高い、積極的にゼミに参加する意欲のある学生を求めています。			